

2021年7月9日
株式会社イーアイアイ

AI 火花検知システム「SparkEye™」が、
「IT 導入補助金 2021」の対象ツールに認定されました。

株式会社イーアイアイ（本社：東京都千代田区、代表取締役：胡 浩）は、経済産業省が推進する「サービス等生産性向上 IT 導入支援事業（以下、IT 導入補助金）」において「IT 導入支援事業者」として採択されました。同時に、AI 火花検知システム「SparkEye™」が対象ツールとして認定されたことをお知らせいたします。

類型	A 類型
補助率	購入金額の 1/2 以内
補助額	30 万～150 万未満

■補助対象ツール

- ・ Spark Eye (AI 火花検知システム)

<https://sparkeye.net/>

■補助対象者

- ・ 対象ツール（SparkEye）を導入する中小企業・小規模事業者の方が対象となります。詳細については IT 導入補助金の公募要領をご確認ください。

<https://www.it-hojo.jp/applicant/subsidized-works.html>

本システムは、画像認識 AI の技術により、リチウムイオン電池等が破砕機において破砕された瞬間に発生する火花を自動検知（0.05 秒）し、アラート発報（自動散水連携可）することで火災を未然に防ぐシステムです。また、検知した画像を可視化機能も備えており、定量的なリスク管理が可能になります。さらに、警報の感度調整を現場の火花発生状況に応じてタッチパネルで簡単に設定ができ、誤動作を防止することが可能になります。



■システムの主な機能

- ✓ AI 画像認識技術を用いて火花をリアルタイムに検知可能。
- ✓ 検出速度 0.05 秒以下、一瞬の火花でも逃さず、昼夜問わずに検知可能。
- ✓ 事故の発生状況を鑑み、適切な警報レベルマスタを設定可能。
- ✓ 警報レベル設定により、メール送信、PLC 出力による IoT 警報ランプ、散水、消火栓等を自動的に起動させる。
- ✓ 火花発生と終了時に、設定したメーリングリストに画像付きの火花発生状況を送信する。
- ✓ 検出画像、日時、場所、事故開始時間、終了時間等すべての事故情報をデータベースとして構築される。
- ✓ すべての情報をデータベースでグラフ化、可視化し閲覧可能。
- ✓ 事故情報データベースを蓄積することにより、将来的に操業診断、安全性解析等に、ビッグデータとして活用可能。

■IT 導入補助金の詳細について

<https://www.it-hojo.jp/overview/>

■株式会社イーアイアイについて

株式会社イーアイアイは、最先端 AI/IoT 技術を用い、産業廃棄物業界をはじめとしたすべての業界に対してイノベーションを目指すスタートアップ企業です。環境・エネルギーに関する高い専門性と廃棄物処理の現場感覚を持ち合わせながら、スマートファクトリーの実現を目指し、AI/IoT、ロボティクス、ビッグデータ等の先端技術を用いて、現場のリアルなニーズに応じ、具体的なシステムソリューションの企画、設計、開発を行っております。

■会社概要

会社名	: 株式会社イーアイアイ
ホームページ	: https://eii-net.co.jp/
所在地	: 東京都千代田区神田錦町 1-23 宗保第二ビル 4F
代表取締役	: 胡 浩
資本金	: 9,500,000 円
事業内容	: AI・IoT ソフトウェア、システムの開発 環境・エネルギー分野における IT ソリューションの企画、開発、販売

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社イーアイアイ 担当：米原
お問い合わせ先：info@eii-net.co.jp
電話番号：03-3518-9797

※本リリースに掲載の情報は発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

以上